

# 公共交通によるリニア駅と小井川駅との アクセス検討

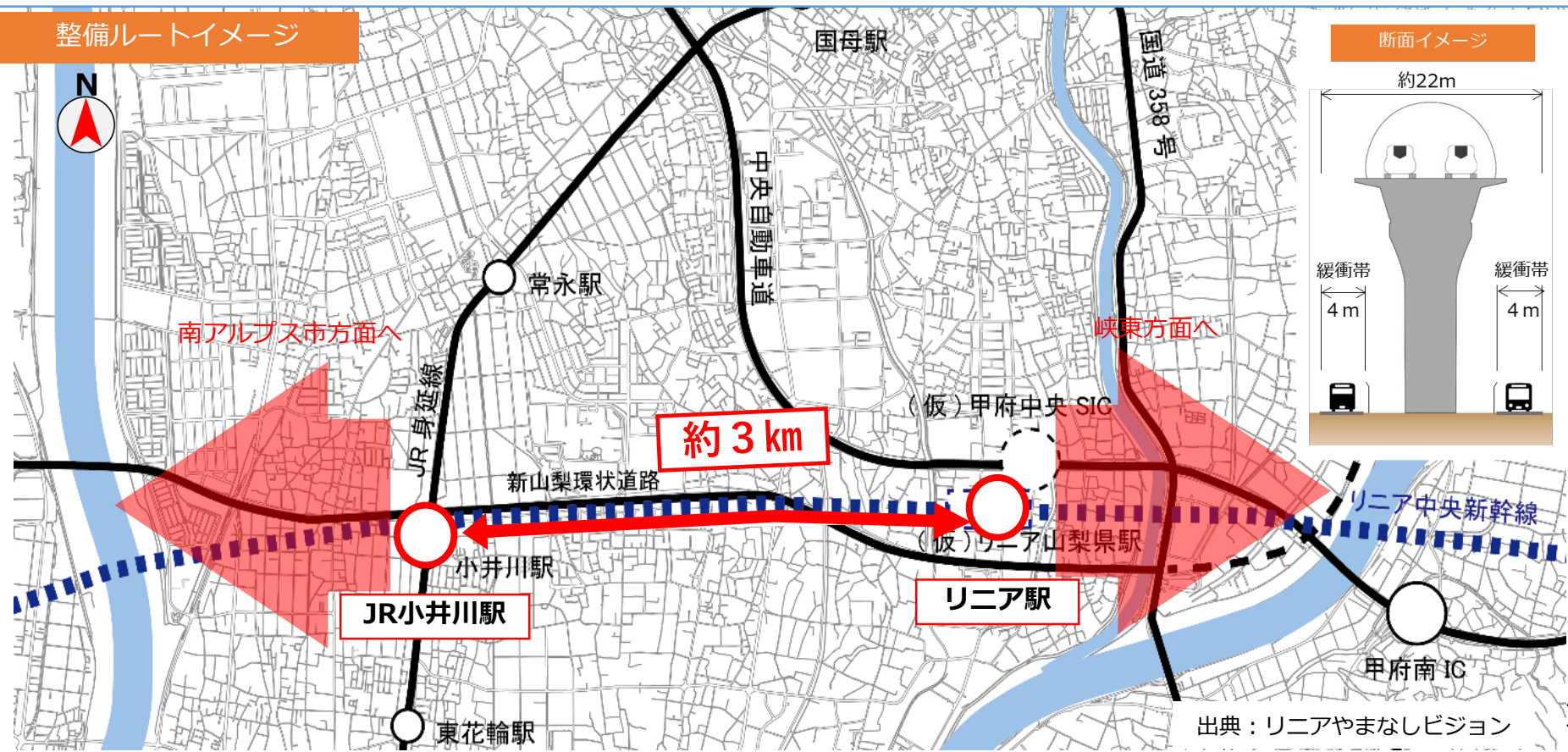
令和4年7月15日  
山梨県

# 1. シャトルバスの検討状況について ～リニア駅－小井川駅間のシャトルバス～

## リニアやまなしビジョン

- リニアの開業効果を波及させるため、公共交通によるリニア駅と既存駅等とのアクセスの向上を図ります。特に身延線の利用者の増加や効果的な活用を図るため、小井川駅との間にシャトルバスの導入を検討します。
- リニア本線用地の緩衝帯を利用した専用道の整備も含めて検討し、さらに、南アルプス市方面や峡東方面へのアクセスも視野に検討します。
- 自動運転技術、燃料電池バス、MaaS、PTPSなど次世代交通システムやモビリティの導入も検討します。
- 事業主体は、イニシャルコストやランニングコスト、運行本数等を想定し、民間運営も含めて検討します。

整備ルートイメージ



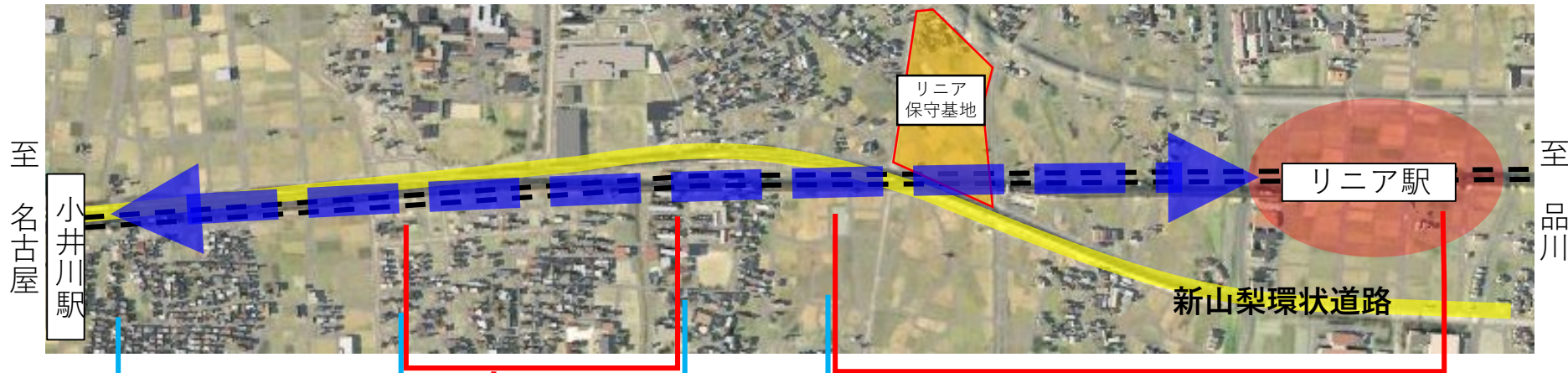
## 2. シャトルバスの検討状況について ～リニア本線用地の緩衝帯の状況～

可能な限りリニア本線用地の緩衝帯を利用した専用道の整備を検討するため、緩衝帯の状況を整理したところ、次の理由により、利用できる区間が全体の3割程度に限られることが分かりました。

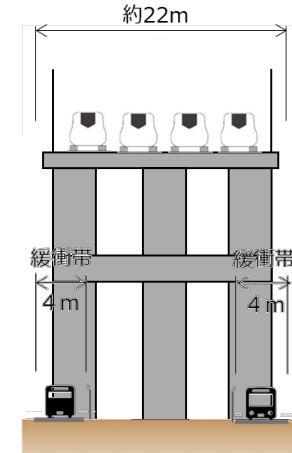
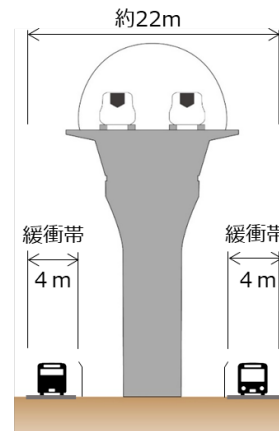
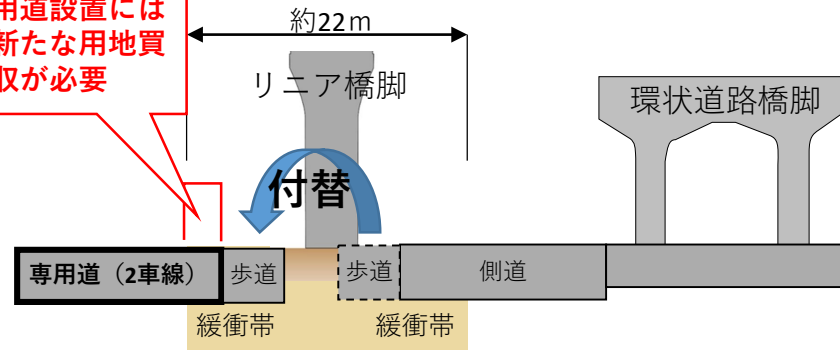
- リニア橋脚の構造上、緩衝帯がない区間がある。
- リニア工事による歩道付替により、緩衝帯が一部しか利用できない区間がある。

この状況を踏まえ、現実的なルートと交通システム、整備・運営手法について検討を進めていきます。

### リニア本線の緩衝帯の状況



付け替える歩道があり、専用道設置には新たな用地買収が必要



活用できる緩衝帯が狭く、専用道設置には新たな用地買収が必要